

こんなときどうする？



台風も怖いけど地震や災害はいつ起こるか分からないし、いったいどんな対策をしておけばよいのかしら

家具は倒れるものと考え、その置き方や固定をすること、また最低でも3日分の食料飲料の備蓄も必要です。水は一人一日3リットルと考えてください。乳児のミルクやオムツ、また普段利用している薬の処方箋の控えなども重要です。避難生活をするようになってしまった場合の非常用持出袋の準備もしてください。



日中は仕事をしているから、家族とは離れ離れになってしまう。災害が起きたらどうすれば良いのだろうか。

日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておくことが重要です。また災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もありますので、災害用伝言ダイヤル171など事前に利用方法を確認しておくとういでしょう。



普段からやれることはたくさんあるのね！今のうちから準備をして、何かあった時に慌てず冷静に行動していこうね。

災害はいつ起こるか分かりません。みなさんの日頃の準備が大切です。



(内閣府・気象庁・統計局ホームページより参照)

災害時に、冷静に対応できるよう、みなさん、日頃から準備を行ってください。災害の規模が大きくなればなるほど、広範囲に及べば及ぶほど、行政の力が隔々まで届くのには時間がかかってしまうことがあります。自助・共助・公助、これらがそろい連携することで被害を、少なくすることができます。自助とは自分を助けること、共助とは家族、地域の人々と共に助け合うこと、公助とは、国県市町村など行政機関からの支援や援助です。

町では9月5日(火)に総合防災訓練を開催します。中央会場での訓練だけでなく、みなさんがお住まいの地域でも、自治会協力のもと地域分散型の防災訓練が行われます。ぜひ参加していただき避難場所や避難経路の確認、また、災害に対する心構えをしていただけたらと思います。

関連連絡先

◆箱根町総務部総務防災課 ☎85-9561

◆災害伝言ダイヤル ☎171

◆神奈川県総合防災センター ☎046-227-1700
(防災情報や体験フロア・展示)

防災特集

9月5日(火) 箱根町総合防災訓練



9月1日は防災の日です。

防災訓練など地域の防災活動に積極的に参加し、避難場所や避難経路の確認をしましょう。

またこの機会に改めて身の回りの確認をし、防災対策をしっかり行いましょう。

9月1日は関東大震災が発生した日です。また多くの被害者を出した伊勢湾台風が発生したのも9月です。このことから、防災意識の向上をめざし9月1日は防災の日とされました。近年、大規模な地震災害や台風大雨被害などが多くなっており、報道でもされているように被害の規模が大きいものが確認されています。

台風の接近は統計的に8・9月が多く、また地震等の災害と違い、天気予報や報道等でも状況の確認や予測できますので早めの対策をしてください。

台風の発生数 (気象庁ホームページより参照)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2006					1	2	2	7	3	4	2	2	23
2007				1	1		3	4	5	6	4		24
2008				1	4	1	2	4	4	2	3	1	22
2009					2	2	2	5	7	3	1		22
2010			1				2	5	4	2			14
2011					2	3	4	3	7	1		1	21
2012			1		1	4	4	5	3	5	1	1	25
2013	1	1				4	3	6	8	6	2		31
2014	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23
2015	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27
2016							4	7	7	4	3	1	26